



2024年2月9日

各 位

会社名 株式会社イーディーピー
代表者名 代表取締役社長 藤森 直治
(コード番号：7794、東証グロース市場)
問い合わせ先 代表取締役副社長 兼 総務部長 高岸 秀滋
(TEL 06-6170-3871)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は本日開催した取締役会において、2023年8月9日に公表しました2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の通期業績予想を未定としていましたが、下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

なお、2024年2月9日に公表しました（開示事項の変更）「子会社設立に関するお知らせ」の一部変更のお知らせのとおり、2024年1月16日に子会社であるエス・エフ・ディー株式会社を設立し、2024年3月期第4四半期より連結決算への移行を予定しておりましたが、連結決算への移行について、未定とすることとなりました。そのため、本通期業績予想の修正に関するお知らせについては、当社単体での非連結決算を前提とした通期業績予想の修正金額で公表しております。

記

1. 2024年3月期通期業績予想の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想 (B)	742	△370	△290	△265	△20.19
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 2023年3月期	2,707	1,280	1,280	909	72.47

(注) 当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。

前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、今回修正予想 (B) の2024年3月期の1株当たり当期純利益 (予想) 及び (ご参考) 前期実績の2023年3月期の1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 通期業績予想修正の理由

当社は、2024年3月期の業績予想につきまして、2022年12月6日に輸出貿易管理令の一部を改正する政令が施行された影響を合理的に算定することが困難であったため、2023年8月9日に公表しました2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の通期業績予想のお知らせにおいて、2023年5月12日に公表しました「2023年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」に公表しました2024年3月期の業績予想を取り消し、未定としました。

2023年11月10日に公表しました「2024年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」における2024年3月期の業績予想について、2023年10月以降の需要動向を合理的に算定することが困難であったため、引き続き通期業績予想を未定としました。

最近の情勢を踏まえ、2024年3月期の通期業績予想を、上表のとおり修正いたします。

修正の理由としては、当社の主力事業である種結晶において、主として、輸出貿易管理令の一部を改正する政令の施行に関係して、2023年4月以降、一時的に輸出を全面的に保留したことで、ユーザーが他社の種結晶への切り替えや、種結晶の自家生産へシフトしたことにより、輸出の保留をおこなう前の水準まで回復しませんでした。その他、LGD市場の規模は拡大しているものの、小型宝石価格の下落と種結晶市場の大幅な変化により、当社ユーザーからの受注は減少しました。さらに、イスラエルの顧客からの受注がキャンセルとなるなど、パレスチナとの紛争の影響を大きく受けております。そうした中であって大型種結晶の需要の増加が顕著ですが、減少分を補うまでには至らず、売上は前事業年度と比して大きく減少することを見込んでおります。

また、基板・ウエハに関しては、世界的にダイヤモンドデバイス開発が活発化していることに伴い、大学や研究機関だけではなくダイヤモンドデバイスの開発に取り組む企業が増加しました。2023年8月に発売を開始した低抵抗基板も受注が始まっており、前事業年度と比して売上が大幅に増加することを見込んでおりますが、種結晶の減収を補うまでには至らない状況にあります。

これらにより、売上高は、前事業年度に比べ1,964百万円減少し、742百万円となる見通しです。

損益面においても、売上原価、販売費及び一般管理費の削減に取り組みましたが、売上の大幅な減少による影響を大きく受けたことにより、営業損失は370百万円、経常損失は290百万円となる見通しです。また、繰延税金資産の取り崩しにより当期純損失は265百万円を見込んでおります。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上